

# 地方税統一QRコードに関する 当協議会の対応について

---

2022年3月14日

一般社団法人キャッシュレス推進協議会



STRICTLY CONFIDENTIAL

© 2022 Payments Japan Association, all rights reserved.

## — JPQR仕様書への記載内容（案）

---

仕様書の確定、公表時期については、関係各機関とも調整の上、当協議会の内部プロセスも踏まえ、決定いたします。

# データフォーマットについて

JPQR仕様書では、データフォーマットについて規定しています。また、印刷における表示要件も定めています。

## データフォーマット

- Tag(ID)の記載順については、「ID:63」を除き、ID番号の昇順にて記載しなくてはならない
- 「ID:63」については、最後に記載する
- 「ID:63」のチェックディジット（CRC）を含め、全て数字で記載する
- 文字コードは「UTF-8」を利用する

## 表示要件

- 周辺マージン含め、20mm四方に収まるように記載をしなくてはならない
- 1セルあたり0.28mm相当以上で表示をしなくてはならない。読み取り精度向上の観点から、1セルあたり0.32mm相当以上での表示を推奨
- 印刷にあたっては、1セルあたり4dot以上で印刷しなくてはならない
- 誤り訂正レベルは「M」とする
- QRコードの内部にロゴ等のQRコードに関係のない記載は行ってはならない
- コントラストが強調されるような配色にて印刷を行うことが求められる
- 納付書への記載方法等については、流通システム開発センターが定めるガイドラインに従う

# Tag(ID):27 「契約店情報」の記載方法

Tag(ID):27 への記載方法は下記のとおりです。特定内容に関する具体的な記載内容、方法については、地方税共同機構及び日本マルチペイメントネットワーク推進協議会の定めに従うこととします。

## 格納データ

項目名	ID	存在	内容
仕様バージョン	00	<u>必須</u>	“01”
静的/動的フラグ	01	<u>必須</u>	“12”
契約店情報	27	<u>必須</u>	右記参照
取引金額	54	<u>必須</u>	納付金額 11桁とし、先頭ゼロ埋めとする
付加情報 1	62	<u>必須</u>	課税年度等 26桁とし、先頭ゼロ埋めとする
付加情報 2	80	<u>必須</u>	拡張領域 85桁とし、先頭ゼロ埋めとする
チェックディジット (Cyclic Redundancy Check (CRC))	63	<u>必須</u>	チェックディジット 10進数5桁にて表示する

## 契約店情報の格納データ

項目名	Sub-ID	存在	内容
地方税共同機構 識別子	00	<u>必須</u>	“13800”
特定内容	01	<u>必須</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• チェックディジット</li> <li>• 地方税共同機構の口座番号</li> <li>• 払込金額</li> <li>• 払込手数料の加入者負担／払込者負担</li> <li>• 機関ID (収納機関番号)</li> <li>• 印紙税の要否の別</li> <li>• 税目・料金 (納付区分)</li> <li>• 拡張領域</li> <li>• チェックディジット</li> <li>• 案件特定キー</li> <li>• 確認番号</li> <li>• eLTAX利用領域</li> <li>• 団体番号</li> <li>• 税事務所コード</li> <li>• 拡張領域</li> </ul>

# その他

ガイドラインでは、コンビニエンスストア等の既存の支払いチャネルにおける誤認防止に向けた取組についても記載する予定です。また、eLTAX等の各システムとの連携についても、記載いたします。

## 誤認防止に向けた努力

- コード決済事業者は、利用者がコンビニエンスストア等に納付書を持ち込んで支払う場合に、コード決済サービスが利用できると誤認しないように、利用方法を利用者に周知する等かかる誤認を防ぐ策を行うことが求められる
- 納付書を作成する自治体や自治体からの受託者等も、納付書の裏面の記載の工夫等により、かかる誤認が生じないようにすることが求められる

## 二重支払いの防止

- コード決済サービスを利用し納付した場合、納付書に対し、納付を確認できるような第三者による受領印等の押印を行うことはできないため、利用者による二重払いが行われないよう配慮しなくてはならない
- 二重払いの防止に向け、QRコードの読み込みの都度、eLTAXシステムへ問い合わせを行うことが重要である

## — CRCについて

---

# サンプルロジック

CRCの作成に関するお問い合わせを複数頂いています。これまでのご質問を踏まえ、CRCについて改めてご説明いたします。

## 基本的な考え方

- 計算を行う対象範囲をUTF-8の文字コードのバイナリで捉え、先頭から1バイトずつ処理を行う
- 計算自体は、ビット単位で行う
- 計算を行う対象範囲は、最後のタグと長さを表す、「6305」を含んだ形で算出する。したがって、先頭の「0002」から「6305」までが対象となる
- 設定値としては、下記を採用する
  - ✓ Polynomial : 1021
  - ✓ Initial Value : FFFF
- 表記方法は、10進数の5桁で示す

## サンプルロジック

- 下記サイトに計算コードが示されており、当協議会が運営するシステムにおいても、当該ロジックを参照し構築している
- <https://github.com/meetanthy>